

## 平成26年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	総合企画局臨海部国際施路室	要素事業所管課	総合企画局臨海部国際戦略室
----------	---------------	---------	---------------

### 1 計画の概要

計画の名称	京浜臨海部地域への交通アクセス改善	計画の期間	平成22年度～ 平成25年度
計画の目標	川崎市の京浜臨海部地域については、交通アクセスが京急大師線と JR 南武支線の沿線地域のほかは、バスが中心となっており、特に企業送迎バスの発着場所での路上駐車が一般交通を阻害し、道路混雑などにより通勤時間が長時間化するなど、公共交通網の整備が課題となっている。一方、殿町3丁目地区については、本市の総合計画で「臨海都市拠点」に位置付けられ、環境、ライフサイエンス分野の研究開発拠点の形成や、臨空関連産業等の集積を目指しているが、交通アクセスについては、京急大師線の小島新田駅から1.2km以上あり、徒歩で15分程度の時間が必要であり、川崎駅からのバス便については、市街地の渋滞も考慮すると通勤時間帯で30分以上かかっており、来街者アクセスの脆弱さが課題となっている。そのため、殿町3丁目及び、川崎臨海部地域への交通アクセスを改善するため、公共交通網の充実に資する産業道路駅におけるバスターミナルの整備を行うものである。		
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎駅から殿町3丁目地区(小島町バス停)までのアクセス時間25分(H22)を20分程度(H25)に短縮</li> <li>川崎駅から川崎臨海部浮島地区(浮島バスターミナル)までのアクセス時間を40分(H22)を30分程度(H25)に短縮</li> </ul>		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	関連社会資本整備事業として、バス進入路の道路拡幅工事に関連する建物移転補償を実施		

### 2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況(概要)

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	産業道路駅周辺地区都市交通システム整備事業	144,000	142,500	142,500	100%	すべての事業が完成している。
B (関連社会資本整備事業)	市道殿町23号線・34号線 市道殿町夜光線 市道田町11号線、 市道大師河原4号線	53,000	103,600	93,400	90%	一部用地買収を除き、すべての事業が完成している。(※用地交渉継続中)
全体事業費(A+B+C)		197,000	246,100	235,900	96%	

### 3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	川崎駅から京浜臨海部地域へのアクセス時間			
定義及び算定式	① 川崎駅から殿町3丁目(小島町バス停)までのアクセス時間を調査する。 ② 川崎駅から川崎臨海部(浮島バスターミナル)までのアクセス時間を調査する。			
その指標を設定した理由	産業道路駅バスバース整備による川崎駅から京浜臨海部地域へのアクセス改善の効果を、定量的なアクセス時間で評価するため。			
当初現況値(H22)	中間目標値	最終目標値(H25)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
① 25分	① -	① 20分程度	① 18分	① 達成
② 40分	② -	② 30分程度	② 31分	② 達成
目標達成状況に対する所見	産業道路駅前のバスバース設置により、川崎駅から京浜臨海部地域(殿町3丁目地区、浮島)への川崎駅からのアクセス時間の改善が図られた。			
将来の見込み	産業道路駅前のバスバース設置により、川崎臨海部地域への交通アクセス改善が一定程度図られたが、今後、更なる公共交通網の充実を目指す産業道路駅前交通広場の整備を進め、一層のアクセス改善を図る。			

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	—
定義及び算定式	—
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	—
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	—

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意見</li> <li>内容：市のホームページにおいて、事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民からの意見を募集。</li> <li>手法：担当課への意見書の郵送、FAX、メール、提出などによって意見を募集。</li> <li>実施期間：9月1日～9月30日</li> <li>・ヒアリング（大師連立第1期沿線協議会、浮島会企業代表者）</li> </ul>
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	<p>意見数：3件（殿町地元市民、市民団体、殿町立地企業）</p> <p>市民、企業からの意見把握の結果、臨海部へのアクセス改善、殿町3丁目地区への歩行者アクセス改善について肯定的な意見が得られ、事業効果を確認できました。一方、企業集積が進む殿町3丁目には、バスターミナルやタクシー駐車場等の設置を求める声や、浮島未来館へのバス路線延長、バス便の増便、産業道路からバスへのスムーズな乗り換え改善など、臨海部へのさらなる交通アクセス改善を求める声があることから、より一層の取り組みが求められており、今後これらの取り組みを検討のうえ、進めていく必要がある。</p>

6 今後の方針等

総合的な所見	<p>指標の達成度は、業道路駅前へのバスバース設置により、川崎臨海部地域への交通アクセス時間の改善が確認できました。さらに、バスバースの設置とあわせ浮島立地企業送迎バスが、臨港バスへ転換されたことにより、臨海部の交通混雑の緩和、交通安全確保の一助になりました。ただし、意見把握の結果からも、さらなる交通アクセス改善や公共交通への転換を進める取り組みが必要となっています。</p>
今後の方針 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">             次期計画              あり・なし         </div>	<p>産業道路駅前のバス発着場所の整備等により、殿町3丁目地区及び、川崎臨海部地域への交通アクセス改善に効果が見られました。</p> <p>今後は、産業道路駅前交通広場の整備を推進し、交通ネットワークを強化するとともに、公共交通への転換を促進する施策とあわせて、総合的な公共交通の利便性向上に努め、臨海部の活性化や持続的な発展に向けた取り組みを進めて参ります。</p>